

単元名 人のたんじょう

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 人の受精卵の成長を理解するとともに、目的に応じて情報を収集して、その結果を適切に記録することができる。
- (2) 人の受精卵の成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決することができる。
- (3) 人の誕生について、進んで関わりながら問題を解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

標準的な展開例

05050301_001

【準備等】人の誕生に関する本やビデオ（DVDなど）、人体模型など、模造紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 人の誕生や生まれた後の成長について考え、単元の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 母親のお腹の中の赤ちゃんの様子について、感じたことや気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人は、お母さんのお腹の中で育って生まれてくる。 ・ 自分もこうして生まれてきたのかな。 ○ 「卵（卵子）」「精子」「受精」「受精卵」という用語の意味を知る。 ○ 人の受精卵と子が生まれる頃とを比べ、不思議に思ったことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人の受精卵はとても小さいけれど、赤ちゃんが生まれる頃のお母さんのお腹は大きくなっているのはなぜだろう。 ・ 人の受精卵は、お母さんのお腹の中でどう変わっていくのだろう。 ★ 人の受精卵は、母親の体の中で、どのように育って生まれてくるのだろうか。 ○ 予想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人もメダカと同じように、受精卵が少しずつ変化して人の子になると思う。 ・ 赤ちゃんはお母さんの体の中で育つから、お母さんから養分をもらっていると思う。 ○ 自分の予想を確かめる方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書や図鑑などの本 ・ インターネット ・ ビデオ、DVD ・ 母親、養護教諭、看護師、医者に話を聞く など <p>2～4 人の受精卵が育つ様子について、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 人の受精卵が母親の体内で育つ様子を調べよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の予想や予想を確かめる方法を振り返り、人の受精卵が育つ様子について調べる。 ○ 班ごとに、調べて集めた情報を交換し、内容を整理する <ul style="list-style-type: none"> ・ 「受精卵の変化」について ・ 「成長に必要なもの」について <p>5～6 発表準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 発表準備をしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表内容や方法を決定し、発表資料を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模造紙にポスター形式でまとめる。 ・ 実物投影機やビデオ、パソコンなどの情報機器を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤ちゃんに関する写真（教科書P.172～173など）や動画などを見せて赤ちゃんへの親しみを感じさせることで、母体内の胎児についての関心を高めさせる。 ・ 子どもの家庭の話を取り上げるときには、家庭事情を十分考慮する。 ・ メダカの受精卵は、中でだんだんとメダカらしい姿に変化してメダカの子がかえることを思い出させ、比較しながら考えさせる。 ・ 「受精卵の変化」と「成長に必要なもの」に関する疑問を出させる。 ・ 学級全体を通して、「受精卵の変化」と「成長に必要なもの」の両方が調べられるように配慮する。 ・ 学級文庫に関連図書を準備しておくといよい。 ・ 家の人や養護教諭、学校医などに質問する場合は、事前に連絡し、打ち合わせをしておく <p>【評】人の誕生について話し合う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 胎児の母体内での成長に着目して、それらと時間の経過とを関連付けて、胎児の成長の様子について調べさせる。 ・ 児童が調べたい内容を、大きく「受精卵の変化」と「成長に必要なもの」に分類して調べさせる。 ・ 教材として提供を受けたへその緒やエコー写真など、児童がお腹にいた頃の資料なども参考にさせるとよい。 ・ 自分が生まれたときの家の人の気持ちにも触れさせることで、命の大切さや誕生の喜びを味わえるようにする。 ・ 班の中で、それぞれの内容ごとに自分が調べた内容を発表し、それらについて質問や付け足しをし、情報を共有していく。 <p>【評】人の受精卵が育つ様子について調べる活動を通して、「知識・技能」，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ方は、教科書P.177を参考にさせ、疑問、分かったこと、感想などに分け、絵や写真、図表などを使って分かりやすくまとめさ

てまとめる。

7 調べてまとめたことを発表し合う。

★発表を聞き合い，人の誕生について分かったことをまとめよう。

- 発表を聞き合う。
 - ・受精卵の変化
 - ・成長に必要なもの

- 発表を聞いて知ったことを整理し，分かったことをまとめる。

- ・人の受精卵は，母親の体内で，約38週かけて，だんだんと人のすがたに育ち，子として生まれてくる。
- ・体内では，母親の胎盤からへその緒を通して，養分などを取り入れ，不要な物を送り出している。
- ・生まれた人の子は，やがて大きく成長して，次の世代へと生命をつなげていく。

8 単元のまとめをする。

★単元の振り返りをしよう。

- ・「確かめ」に取り組む。

せる。

【評】調べて分かったことをまとめ，発表準備をする活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。

- ・発表をするときは，自分の話したことが聞き手によく伝わっているか，確かめさせながら発表させる。
- ・発表を聞くときは，話の中心や気付いたこと，思ったことなどをメモしながら聞かせる。また，疑問や補足についても挙げさせ，考えを広げさせる。
- ・自分の予想と比べさせながら整理させる。
- ・メダカと違い，人は子宮の中の受精卵がだんだんと人の姿に変化していくことを捉えさせる。
- ・分かったことは，教科書P.178～179「受精卵の変化」，P.180「成長に必要なものの取り入れ方」も参考に，まとめさせる。
- ・「子宮」「たいばん」「へそのお」「羊水」「羊まぐ」という用語の意味を確認する。

【評】人の受精卵の成長について，分かったことをまとめる活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

<関連>

- ・第4学年「季節と生き物」
- ・中学校第3学年「生物の成長とふえ方」